

第14回 さんぽを楽しむ会～築地市場・汐留コース～ 実施報告

5月20日、旭川東高等学校東京同窓会第14回「さんぽを楽しむ会」は、「築地市場・汐留」コースを実施しました。参加者は東高7期から37期までの総勢16名でした。当日は熱中症に注意しなければならない気温の上昇が心配されましたが、皐月晴れのさんぽ日和に恵まれました。今回も第3回より続いてわかりやすい説明が好評の郷土史家渡辺功一さんにご案内をお願いしました。



・集合場所の築地本願寺前庭で本堂を背景に全員チーズ

午前10時に築地本願寺正門に集合。今回は14回続くさんぽを楽しむ会史上初のお見送りがありました。今年の総会当番期37期の名畑さんと小田原さんが激励



・当番期幹事さんお見送り！

に来てくださり、また熱中症予防の飴などを詰め合わせたお菓子

を配るという心配りに感激しました。来る7月11日の総会への出席を約しながら、築地場外市場を目指して、築地川を埋め立てた通りを歩きはじめました。



・大賑わいの築地場外市場



・名物のターレット

築地場外市場は、噂には聞いていましたが、大勢の外国人観光客で賑わっていました。私自身は初めてでしたが、以前はこのような混雑本願寺の末寺が集まっ

は年末くらいだったとか。ここは、もとは
ていた場所とあって、何軒かの寺院が残っていました。ターレットという市場独特の車が行き交うなか、美味しそうなものに目を奪われながら、波除神社へ。江戸時代、難航する埋め立て工事が、浪間を漂う稲荷大神のご神体をここに祀ったのち無事終了したという言い伝えのある神社です。境内には活魚塚や海老塚など、築地らしい塚がありました。また、かつ



・江戸沖埋立工事の守護神 波除神社



・魚河岸水神社と「旗山」の碑

てその隣には、幕末から明治にかけて築地ホテル館があり、現在の清水建設が建てた和洋折衷の塔付きの建物が新東京名所となったとの渡辺さんの説明を聞くことができました。いよいよ、来年後半には豊洲への移転が決まっている築地市場場内へと進みました。まずは、魚河岸水神社へ。この場所は、江戸時代は松平定信の庭園浴恩園跡で、明治維新後は海軍用地となり、境内にある「旗山」の碑は、日本海軍発祥のゆかりを記す貴重な史跡です。築地市場を後にし



・老舗料亭「新喜楽」



・海軍兵学寮跡の碑



・国立がん研究所センター

て、芥川賞・直木賞の選考会場として知られる老舗料亭の新喜楽を眺め、工事中でしたが国立がん研究センター敷地内の海軍兵学寮跡の碑を見学しました。新大橋通りから浜離宮恩賜庭園の大手門へと進み、さらに市場貨物線跡に残された踏切で、かつて九州から築地へ鮮魚を輸送して



・浜離宮恩賜庭園大手門



・踏切跡信号機



・汽笛一声新橋駅のホーム再現

いた特急鮮魚貨物列車「とびうお」の話の話を聞きました。その後、旧新橋停車場鉄道歴史展示室を見学。現在の新橋



・始発新橋駅線路脇 ≡全員

駅は烏森駅で、鉄道唱歌の「汽笛一声新橋を…」の新橋駅がこちらであったことなど、あらためて知ることができました。展示室では企画展「野球と鉄道」が開催中。国鉄スワローズほか私鉄各社が球団を持っていたこと、アメリカ留学から帰国した鉄道技師によって

日本初の野球チーム「新橋アスレチック倶楽部」が結成されたことなど、興味深い内容でした。旧新橋停車場を後にして昼食会場のカレッタ汐留 46 階「北海道」へ。眼下に広がる築地市場が、長い貨物列車を停めるためカ



・築地市場を眼下にしつつ美味しいビールと
昼食の海鮮料理を堪能！

ーブしている形に一同納得。眺望と海鮮丼やザンギをつまみにしながら、美味しいビールでのどを潤し、大いに盛り上がりました。

今回も約 9500 歩のさんぽで楽しいひと時を過ごしました。見慣れた街角にさまざまな歴史があることを教えてくださる渡辺さんに、改めて感謝します。次回 11 月は宿場町へ出かける予定です。多くの皆様の参加をお待ちしております。(27 期 砂澤祐子記)



・先程歩いた築地市場を俯瞰！